

基本施策5 スポーツを通じた地域の活性化

施策目標

本県の豊かな自然やスポーツ施設等を活用し、国内外からの交流人口の拡大と活力に満ちた地域づくり

現状と課題

1 地域を活性化させるスポーツイベント等

多くの人々が参加できるスポーツイベントの開催は、県民にスポーツを実施する機会を提供するだけでなく、会場周辺の地域に賑わいをもたらし、地域や経済を活性化させる効果が期待されます。また、スポーツイベントでは、応援する観客（みる）、運営するスタッフやボランティア（ささえる）など、大勢の方々が集い、交流人口の拡大も期待されます。

平成27年の北陸新幹線の開業にあわせて始まった富山マラソンや富山湾岸サイクリングでは、富山湾や立山連峰などの自然が魅力となっており、富山マラソンでは、毎年、国内外から1万人を超えるランナーが出場しています。景観の良



富山マラソン

さ、ホスピタリティー豊かなボランティアのおもてなし、多くの地域住民による沿道応援等、多くのランナーから好評を得て、全ランナー数の約2割は、毎年参加しています。また、平成30年11月に開催した第31回全国健康福祉祭とやま大会（ねんりんピック富山2018）では、大会史上最多となる27種目のスポーツ・文化の交流大会等に全国から延べ55万人を超える選手・役員等の参加がありました。

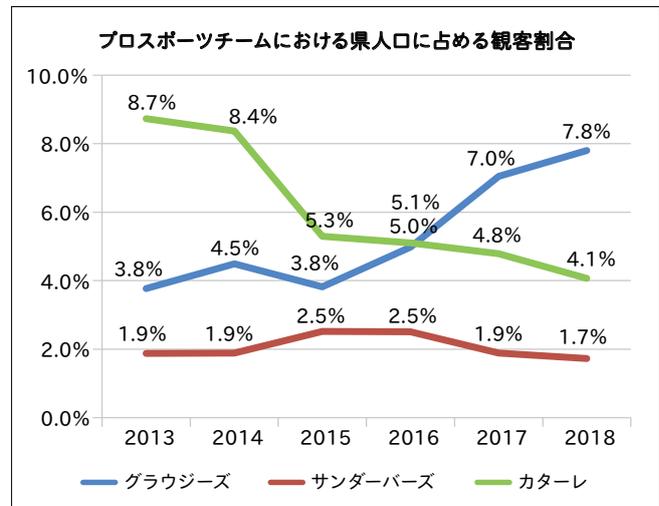
本県には、国際大会や全国規模のスポーツ大会、全日本チームや大学の合宿等で使用されているスポーツ施設が整備されており、このようなスポーツ環境の有効活用や令和5年の北陸新幹線の敦賀延伸、更には大阪への延伸を見据え、富山駅付近に武道館機能を有する多目的施設を整備することで、地域の活性化や交流人口の拡大に繋がると考えます。

このようなスポーツイベントや全国規模のスポーツ大会は、開催や運営に要する支出だけでなく、大会参加者や観戦者等の多くの人々がその地を訪れ、宿泊し、飲食やグッズの購入等の様々な消費を誘発することから、市町村や関係機関等との一体的な連携を図りながら、多くの人々が参加できる魅力あるスポーツイベントが開催され、地域の活性化や交流人口の拡大に結びつけていく取組を検討していくことが必要です。

2 みるスポーツの機会を通じた地域の活性化

スポーツをみることは、楽しみや喜びを感じたり、気分転換、ストレス解消が図られたりといった効果のほか、直接会場等へ出向いて観戦することによって、多くの観客と興奮や感動を共有できます。本県では、これまでもバスケットボール（富山グラウジーズ）、野球（富山サンダーバース）、サッカー（カタレ富山）のプロスポーツチームのホームゲームをはじめ、バレーボールやホッケー、バドミントン、ハンドボール等、国際大会や地元チームが所属する日本リーグなどのトップレベルの試合が定期的で開催されています。

特に、プロスポーツチームは、魅力あるゲームの開催に努めるとともに、子どもたちに無料で観戦できる取組や地域貢献活動にも積極的に取り組んでおり、直接会場に出向き、試合観戦の機会をつくることは、スポーツの普及のみならず、入場料や関連グッズの売り上げなど経済の活性化にもつながると期待されることから、地元チームを応援する機運醸成に努める必要があります。



資料：県スポーツ振興課調べ

3 スポーツ情報の発信

県内で開催されるスポーツイベントやプロスポーツチーム等の試合の日程・場所等の情報は、県・各チーム等のHP、新聞などで情報を発信しています。より多くの県民が競技会場へ足を運び、観戦してもらえるよう、スポーツ観戦の魅力やスポーツイベント等を積極的に発信していくことが必要です。

具体的方策

1 地域を活性化させるスポーツイベント等の推進

(1) 本県の魅力を活かしたスポーツイベントの開催

富山湾や3,000m級の山々が連なる立山連峰など、本県の豊かな自然環境等を活かしたスポーツイベントや県内各地の地域特性を活かしたスポーツイベント等の充実に努めます。

- 県内外、海外からの多数のランナーが集う、県内最大級の富山マラソンを支援します。
- 子どもから高齢者まで誰もが気軽に参加できるウォーキングイベントを県内各地で開催し、各市町村等と連携し、会場の地域特性を活かした観光PRを行うなど、地域活性化に向けた活動を一層展開していきます。
- 国内外に本県の豊かな自然や歴史・文化などの魅力を発信するため、市町村や関係機関等と連携し、スポーツとコラボレーションした大会やスポーツイベントの企画・誘致に努めます。

(2) 武道館機能を有する多目的施設を活用した地域の活性化

武道をはじめ多くの室内スポーツ競技の大会や練習会等に加え、様々なイベントができる武道館機能を有する多目的施設の整備を推進します。(再掲)

- 武道の大会や日常の稽古や指導者講習会で利用しやすい施設とし、武道の振興・競技力の向上に努めます。(再掲)
- 武道以外のスポーツ大会や県民の日常的なスポーツ利用、冬季のスポーツの場となる施設とし、県民の健康増進に努めます。(再掲)
- スポーツイベントや文化イベントの開催など本県の賑わい創出に寄与する施設とし、地域の活性化を目指します。(再掲)

(3) スポーツを通じた交流の促進

国や年齢、性別、障害の有無等に関係なく人と人が交流することは、相互理解の促進や地域の一体感と活力の醸成とともに、交流人口の拡大にもつながることから、スポーツを通じた交流の一層の促進に努めます。

- 市町村や競技スポーツ団体等との連携や公共交通機関の利便性を活かして、県外学生等のスポーツ合宿誘致や合宿時の宿泊に対する助成などの支援により、本県のスポーツ施設での大学、国内トップレベルのチームや日本代表、海外チームの合宿、全国規模スポーツ大会等の誘致に努めます。
- 関係団体と連携しながら、スポーツ活動を通じた国内外の人々との交流が促進されるよう努めるとともに、中国遼寧省・韓国江原道・ロシア沿海地方との「環日本海インターハイ親善交流大会」や「日独スポーツ少年団同時交流事業」を今後も継続するとともに、富山マラソンでは、引き続き、海外枠の充足に向け、海外へのPRを推進します。
- スポーツ教室や大会、ボランティアなどに参加できる機会の充実に努め、交流人口の拡大に努めます。

2 「みるスポーツ」の機会づくりの推進

(1) トップアスリートのパフォーマンスをみる機会の推進

「みるスポーツ」は、県民のスポーツへの関心を高め、スポーツのすそ野を広げる役割を果たすとともに、高度な技能を間近で見ることによる競技力の向上など、本県スポーツの振興に大きく貢献します。また、入場料やグッズ購入等の消費に加え、関連業種に経済効果が及ぶことが期待されることから、トップアスリートのパフォーマンスをみる機会づくりに努めます。

- 本県に拠点を置くプロチームや日本リーグ等に参加するチームの試合への観戦者が拡大するよう、各チームや企業、競技スポーツ団体、市町村等と連携を図り、地元チームを応援する環境づくりに努めます。

- 競技スポーツ団体や市町村等と連携を図り、トップアスリートのパフォーマンスを身近にみる機会づくりを推進し、国際試合や国内のトップレベルのチームの大会等の誘致を検討します。

(2) プロスポーツ等と連携したスポーツの魅力の発信

本県に拠点を置くプロチームや日本リーグ等に所属するトップレベルのチームが、学校や地域等で取り組む地域貢献活動を一層推進し、地域の活性化を図ります。

- 子どもたちが気軽に観戦できる機会の創出やスポーツの楽しさや喜びを体験するイベントの開催、子どもたちへの指導や普及活動など、各チームが取り組む地域貢献活動を推進し、スポーツのすそ野の拡大や各種スポーツの魅力の発信に努めます。
- 本県に拠点を置くトップスポーツクラブがプロとアマチュア、競技種目の枠を越えて連携を図り、より充実した活動を展開できるよう、各クラブや企業、スポーツ関係団体等の連携・協力体制の整備に努めます。



©TOYAMA THUNDERBIRDS



©TOYAMA GROUSES/b-league



©KATALLERTOYAMA

県内プロスポーツチームによるジュニア指導

3 スポーツ情報の発信

(1) スポーツ観戦の魅力やスポーツイベント等の発信

スポーツイベントやプロスポーツ・国内トップレベルの大会に県内外から参加者や観戦者を呼び込むことができるよう、スポーツ観戦の魅力、最新のスポーツイベント等の積極的な情報発信に努めます。

- 本県スポーツの総合的な情報発信サイトと位置づけている「とやまスポーツ情報ネットワーク」を活用し、県内のスポーツ大会やスポーツイベント、スポーツ施設等の情報を提供するとともに、スポーツ観戦の魅力や最新のスポーツイベント等の情報と会場地周辺の観光の紹介などをあわせて、県内外に向けた積極的な情報発信に努めます。
- 県民のスポーツへの興味・関心を高めるため、また、「みるスポーツ」の機会づくりを推進するために、SNS等を活用するなど積極的な情報発信に努めます。

施策目標達成のために参考とする指標

指標名及び指標の説明	現 況	R11
県内プロスポーツチームのホームゲーム 年間観客総数（バスケットボール、野球、 サッカー）	142,780人 (H30)	160,000人 (R6:150,000人)
富山マラソンにおける海外枠の充足率	70% (R1)	100% (R6:80%)